



# 世界平和を希求していくために HiCAREができること

オンライン  
での参加も可

- ライブ配信
- 見逃し配信



## 被爆80年 HiCARE設立35年記念 国際シンポジウム

被爆80年・HiCARE設立35年に当たり、国際シンポジウムを開催します。国内外で被ばく者の診療を行っている医師等の放射線被ばく者医療についての知見を深め、被ばく者の健康の保持及び増進を図るため、HiCARE及びその構成団体のこれまでの取組を振り返り、今後を展望します。

日時 令和8年 2月8日(日) 13:00~17:00  
(開場12:30)

会場 広島国際会議場「ヒマワリ」  
(広島市中区中島町1-5)

|入場無料|先着200人|手話通訳あり

### プログラム

● 13:00~	主催者あいさつ・共催者あいさつ・来賓あいさつ
● 13:30~	基調講演① 神谷 研二 (HiCARE会長・(公財)放射線影響研究所理事長)
	基調講演② スーザン・レイノルズ (メディカルリーダーシップ機構理事長/CEO)
● 14:45~	シンポジウム第1部 広島・長崎のパネリスト6名による発表
● 16:25~	シンポジウム第2部 総合討論「今後のHiCAREの展望について」
● 16:55	閉会あいさつ



主催: 放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HiCARE)  
共催: 厚生労働省

後援: 外務省、一般社団法人 広島県医師会、一般社団法人 広島市医師会、  
広島大学、広島大学病院、広島大学原爆放射線医科学研究所、  
公益財団法人 放射線影響研究所、公益財団法人 広島原爆障害対策協議会、  
広島赤十字・原爆病院、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)、広島県、広島市

申込方法の詳細は裏面をご覧ください

お申込みはこちら▶



# 申込方法

①～③のいずれかの方法でお申し込みください。

① 右の二次元コードを読み取り、申込フォームから申込

② HICAREホームページの申込フォームから申込

<https://www.hicare.jp>

③ 国際シンポジウム事務局に電話で申込

国際シンポジウム事務局(株広島朝日広告社内) : **082-228-0131** 〈受付時間  
平日 9:00～18:00〉

お申込みは  
こちら ➤



**申込期限：令和8年1月31日(土)**

会場は先着200人。定員に達し次第、申込を締め切ります。オンライン配信視聴に定員はありません。

**開会行事** 主催者あいさつ／神谷 研二 HICARE会長

13:00～13:30 共催者あいさつ／厚生労働省健康・生活衛生局総務課原子爆弾被爆者援護対策室長  
来賓 あいさつ／広島大学長、広島県医師会長、広島県知事、広島市長

**基調講演** 13:30～14:30

座長／北原 加奈子 広島県健康福祉局長

HICARE会長  
(公財)放射線影響研究所理事長

**神谷 研二** Kenji Kamiya

メディカルリーダーシップ機構理事長/CEO  
:HICARE・米国西海岸リエゾン

**スザン・レイノルズ** Susan Reynolds

被爆後80年—被爆者から学んだこと  
～2つのメッセージとレガシー～

HICARE研修交流プログラム：ロサンゼルスにおける  
被爆者の歩みをたどって

※英語で講演、日本語同時通訳あり

座長／東 幸仁 広島大学原爆放射線医科学研究所 所長

シンポジウム 第1部 14:45～16:15	パネリスト	テーマ
	広島赤十字・原爆病院 名誉院長 <b>土肥 博雄</b>	HICARE 成り立ちから、その後まで
	(一社)広島県医師会常任理事 県立広島病院 小児科主任部長 <b>石川 暢恒</b>	広島県医師会の取り組み ～あきらめない、やめない、終わらない～
	広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野 教授 <b>廣橋 伸之</b>	放射線災害に対応できる国際人材の育成に向けた広島大学の 挑戦 —フェニックスリーダー育成プログラムを中心に—
	(公財)広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター所長 <b>上野 義隆</b>	被爆80年— 広島における被爆者健診のあゆみと継承
	長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)運営部会 副部会長 長崎大学原爆後障害医療研究所 災害復興科学分野 教授 <b>高村 昇</b>	NASHIMの取り組み
	広島県原爆被害者団体協議会 理事長 <b>箕牧 智之</b>	箕牧智之が戦争のこと、戦争が終わった後の 広島と私の人生をお話しします

座長／兒玉 和紀 (公財)放射線影響研究所業務執行理事

シンポジウム 第2部 16:25～16:55	パネリスト	テーマ
	基調講演講師、 シンポジウム第1部の座長及びパネリスト	総合討論「今後のHICAREの展望について」

閉会 16:55～17:00 閉会あいさつ／土肥 博雄 広島赤十字・原爆病院 名誉院長

●日英同時通訳あり ●プログラムの内容は変更となる場合があります。

事務局  
連絡先

■ 参加申込について

国際シンポジウム事務局(株)広島朝日広告社内)

**TEL.082-228-0131**

■ 国際シンポジウムの内容について

HICARE事務局(広島県被爆者支援課内)

**TEL.082-228-9901**